



有限会社オカザキ SDGs宣言

当社は、「自然との共生」という経営理念のもと、
事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、
地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2022年4月21日
有限会社オカザキ
代表取締役 岡崎 省二



重点項目(ターゲット2030)

リサイクル事業を通じた社会貢献

長年培った技術で、廃棄物の抑制と環境保全に全力で取り組みます。安心・安全を第一に法令遵守を軸とした廃棄物のリサイクルを推進し、循環型社会の形成に貢献してまいります。

【主な取り組み】

設備導入による一貫したリサイクル処理体制構築、廃棄物の厳格な選別・適正な処理、3S活動の徹底、事故防止マニュアルの策定



環境負荷の低減

環境問題を重要な経営課題の一つとして認識し、社員の環境への意識を高めます。環境に配慮した事業活動に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【主な取り組み】

太陽光発電設備の設置、照明のLED化、間引き照明の実施、電子マニフェストへの対応、節水の徹底、雨水利用設備の設置



働きやすい職場づくり

社員の声を大切にした職場環境の整備に努め、社員の健康と安全に配慮した働きやすい職場づくりに取り組みます。社員の満足度向上に取り組み、社員からも選ばれる企業を目指してまいります。

【主な取り組み】

経営者自らによる現場の声や実情把握、雇用条件の適時見直し、休暇取得の推進、多様な勤務体制への対応、公平な人事評価制度



地域社会との共生

地域社会の一員として、ステークホルダーの皆さまとの信頼関係構築に努め、事業活動を通じた地域貢献活動や地域課題の解決に取り組み、地域とともに成長し、皆さまから信頼される企業を目指してまいります。

【主な取り組み】

地域との優先的取引、防災訓練の実施、地元商工会議所への加盟、災害時の体制整備



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。